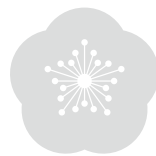


仁叟寺梅花講



梅花流とは

梅花流は、詠賛歌（御詠歌、和讃）のお唱えを通じ、お釈迦様、高祖道元禅師さま、太祖瑩山禅師さまの教えを学びその教えを「お誓い」のもと実践しようという信仰活動です。

梅花流詠賛歌とは（鈴鉦を用いて唱える仏讃歌）

お釈迦さま・両祖さま（道元さま・瑩山さま）を讃え、ご先祖さまを敬うところを唱えます。その歌は日本の風土と暮らしの中で生まれたメロディーです。やさしく穏やかな曲で、唱えやすく安らかなところが生まれ、新たな感動がわいてきます。



梅花講員とは（詠賛歌を唱えるお仲間）

人それぞれ、さまざまな想いの中で、同行同修（他を受け入れながら同じ修行をする）をしていく、信仰心あふれるすばらしいお仲間です。多くの人々がみほとけの教えに照らされて、人と人が良い関わりを持ち、仲良く生きる術を学びます。日本国内はもとより、海外も併せておよそ12万7千人（平成30年4月現在）の講員さんがいます。

梅花講とは（寺院における信仰活動）

それぞれの寺院で、唱える楽しさを中心に、正しい信仰を学ぶところです。正しい信仰は教典と指導者から得られ、お仲間との語らいの中で生まれます。お寺に集まってたくさんの人達と一っしょに詠賛歌を学び、お互いの幸せを願います。苦しみや悩みはみんなで癒して励まし合いながら、仲良く楽しい人生を実感できます。現在、約6千2百の梅花講があります。

お寺の門をたたいてみませんか

梅花流詠賛歌は昭和27（1952）年に創立した、曹洞宗の御詠歌・和讃です。詠賛歌を学んでいくと自然に安らかな気持ちになり、正しい生き方を実感することができます。そして生きるための希望と、生きていくことへの感謝のところで幸福になります。どうぞお寺の門をたたいてみましょう。

稽古日 隔週水曜日 講員募集中

【お問い合わせ先】 仁叟寺 -じんそうじ-

〒370-2123 群馬県高崎市吉井町神保 1295

電話：027-387-3080 FAX：027-387-8766

e-mail：jinsouji@dan.wind.ne.jp URL：http://www.jinsouji.net/

